



平成 27 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社コネクトホールディングス
代表者名 代表取締役社長 長倉 統己
(コード：3647 東証第二部)
問合せ先 経営管理本部 IR 担当 水野 明男
(TEL：03-5439-6580)

**(訂正・数値データ訂正) 平成27年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕
(連結) の一部訂正に関するお知らせ**

当社は平成 27 年 7 月 14 日に開示しました平成 27 年 8 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)の一部を訂正しましたのでお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

1. 訂正内容と理由

当社は、平成 27 年 9 月 24 日付「第三者委員会設置に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、当社 100%子会社である株式会社エコ・ボンズの平成 27 年 8 月期における営業取引につき適正・妥当な会計処理を行うために、当社と利害関係を有しない中立・公正な外部の専門家から構成される第三者委員会による調査を実施し、平成 27 年 10 月 26 日付「第三者委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」にて結果を公表いたしました。

当該調査報告書の指摘内容を踏まえて、平成 27 年第 3 四半期連結累計期間における営業取引の会計処理を再検討した結果、株式会社エコ・ボンズが平成 27 年 3 月に行った営業取引について、売上高および売上原価をそれぞれ総額にて計上しておりましたが、取引実態をより適切に反映するため、マージン相当額の純額を売上高とする処理に訂正することといたしました。

上記の訂正を反映した結果、平成 27 年 8 月期第 3 四半期連結累計期間において、売上高が 80 百万円減少することとなりますが、売上原価が同額減少することとなるため、営業利益以下、各段階損益に与える影響はありません。

また、これに伴い環境関連事業の売上高が 80 百万円減少しておりますが、セグメント利益に与える影響はありません。

2. 訂正の内容

サマリー情報 1 ページ

(1) 連結経営成績（累計）

【訂正前】

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第3四半期	<u>1,076</u>	<u>△5.6</u>	△61	—	△78	—	△88	—
26年8月期第3四半期	1,140	2.6	25	△23.4	16	△33.4	3	△81.3

【訂正後】

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第3四半期	<u>995</u>	<u>△12.7</u>	△61	—	△78	—	△88	—
26年8月期第3四半期	1,140	2.6	25	△23.4	16	△33.4	3	△81.3

添付資料 2 ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

【訂正前】

(中略)

このような環境の中、新たな事業領域として平成 26 年 11 月 4 日に株式会社エコ・ボンズを設立し、太陽光発電事業を展開することといたしました。当該事業は再生可能エネルギーの利用促進、環境負担軽減への貢献等の観点から事業成長の可能性があり、当社グループの収益貢献に寄与するものと判断し設立したものであります。当第 3 四半期連結累計期間におきましては、売上高は 1,076 百万円（前年同四半期比 5.6% 減）、経常損失は 78 百万円（前年同四半期は経常利益 16 百万円）、四半期純損失は 88 百万円（前年同四半期は四半期純利益 3 百万円）となりました。なお、当第 3 四半期連結累計期間において平成 27 年 3 月 16 日に「第三者割当増資による第 8 回行使価額固定型新株予約権の発行に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、当社における新株予約権発行に関する費用等として 4 百万円を追加計上したことにより、支払手数料 16 百万円を営業外費用として計上しております。また、SBY における固定資産除却損 2 百万円及び原宿店舗閉鎖に伴う減損損失 3 百万円を特別損失として計上しております。

(中略)

(環境関連事業)

環境関連（再生可能エネルギー発電）事業におきましては、太陽光パネル（モジュール等）、太陽光発電システムの施工販売、太陽光発電システム導入のためのコンサルタント業務、太陽光発電事業用地の仕入れ販売等を中心に再生可能エネルギー発電関連を行う事業で、当社グループにおける新たな事業領域を拡

大し、成長戦力の核とするべく平成26年11月4日に設立しました株式会社エコ・ボンズにおいて展開しております。当社取締役である奥田泰司はこれまでに太陽光発電システムにおける導入コンサルタントを上場企業を主な顧客として手掛けており、豊富な知識及び人脈を活かすとともに、再生可能エネルギーの利用促進、環境負担低減への貢献等の観点から、太陽光発電事業は事業成長の可能性があり、収益拡大を図るものであります。当社は平成27年3月16日「第三者割当による第8回行使価額固定型新株予約権の発行に関するお知らせ」で開示したとおり、株式会社エコ・ボンズへの事業資金の貸付け（太陽光発電事業用地の取得資金に充当）を行うために、当該新株予約権を発行いたしました。当第3四半期連結累計期間は、1,996.8kWの宮城県仙台市青葉区錦ヶ丘太陽光発電所の売電権利付き用地の販売及び1,990.0kWの千葉県八街市吉倉字高木山太陽光発電所の売電権利付き用地を取得し販売いたしました。

この結果、環境関連事業の売上高は 121 百万円、セグメント利益(営業利益)は 30 百万円となりました。

【訂正後】

(中略)

このような環境の中、新たな事業領域として平成26年11月4日に株式会社エコ・ボンズを設立し、太陽光発電事業を展開することといたしました。当該事業は再生可能エネルギーの利用促進、環境負担軽減への貢献等の観点から事業成長の可能性があり、当社グループの収益貢献に寄与するものと判断し設立したものであります。当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は 995 百万円（前年同四半期比 12.7%減）、経常損失は 78 百万円（前年同四半期は経常利益 16 百万円）、四半期純損失は 88 百万円（前年同四半期は四半期純利益 3 百万円）となりました。なお、当第3四半期連結累計期間において平成27年3月16日に「第三者割当増資による第8回行使価額固定型新株予約権の発行に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、当社における新株予約権発行に関する費用等として4百万円を追加計上したことにより、支払手数料16百万円を営業外費用として計上しております。また、SBYにおける固定資産除却損2百万円及び原宿店舗閉鎖に伴う減損損失3百万円を特別損失として計上しております。

(中略)

(環境関連事業)

環境関連（再生可能エネルギー発電）事業におきましては、太陽光パネル（モジュール等）、太陽光発電システムの施工販売、太陽光発電システム導入のためのコンサルタント業務、太陽光発電事業用地の仕入れ販売等を中心に再生可能エネルギー発電関連を行う事業で、当社グループにおける新たな事業領域を拡大し、成長戦力の核とするべく平成26年11月4日に設立しました株式会社エコ・ボンズにおいて展開しております。当社取締役である奥田泰司はこれまでに太陽光発電システムにおける導入コンサルタントを上場企業を主な顧客として手掛けており、豊富な知識及び人脈を活かすとともに、再生可能エネルギーの利用促進、環境負担低減への貢献等の観点から、太陽光発電事業は事業成長の可能性があり、収益拡大を図るものであります。当社は平成27年3月16日「第三者割当による第8回行使価額固定型新株予約権の発行に関するお知らせ」で開示したとおり、株式会社エコ・ボンズへの事業資金の貸付け（太陽光発電事業用地の取得資金に充当）を行うために、当該新株予約権を発行いたしました。当第3四半期連結累計期間は、1,996.8kWの宮城県仙台市青葉区錦ヶ丘太陽光発電所の売電権利付き用地の販売及び1,990.0kWの千葉県八街市吉倉字高木山太陽光発電所の売電権利付き用地を取得し販売いたしました。

この結果、環境関連事業の売上高は 40 百万円、セグメント利益(営業利益)は 30 百万円となりました。

4. 四半期連結財務諸表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

【訂正前】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日)
売上高	1,140,215	1,076,224
売上原価	562,402	594,985
売上総利益	577,813	481,238
販売費及び一般管理費	552,534	542,823
営業利益又は営業損失(△)	25,279	△61,585
営業外収益		
受取利息	3,658	7,546
貸倒引当金戻入額	721	1,967
償却債権取立益	3,700	160
その他	506	6
営業外収益合計	8,587	9,680
営業外費用		
支払利息	2,927	8,611
支払手数料	12,200	16,589
その他	2,100	1,238
営業外費用合計	17,228	26,439
経常利益又は経常損失(△)	16,637	△78,344
特別損失		
減損損失	3,400	3,256
固定資産除却損	86	2,067
事務所移転費用	7,264	—
特別損失合計	10,750	5,324
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	5,886	△83,668
法人税等	2,051	4,662
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	3,835	△88,330
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,835	△88,330

【訂正後】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)
売上高	1,140,215	995,308
売上原価	562,402	514,070
売上総利益	577,813	481,238
販売費及び一般管理費	552,534	542,823
営業利益又は営業損失(△)	25,279	△61,585
営業外収益		
受取利息	3,658	7,546
貸倒引当金戻入額	721	1,967
償却債権取立益	3,700	160
その他	506	6
営業外収益合計	8,587	9,680
営業外費用		
支払利息	2,927	8,611
支払手数料	12,200	16,589
その他	2,100	1,238
営業外費用合計	17,228	26,439
経常利益又は経常損失(△)	16,637	△78,344
特別損失		
減損損失	3,400	3,256
固定資産除却損	86	2,067
事務所移転費用	7,264	—
特別損失合計	10,750	5,324
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	5,886	△83,668
法人税等	2,051	4,662
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	3,835	△88,330
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,835	△88,330

添付資料 8 ページ

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

II. 当第3四半期連結累計期間（自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

【訂正前】

(単位：千円)

	ビジネスアライアンス事業	コンセプトマーケティング ショップ事業	環境関連事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	503,903	450,415	<u>121,904</u>	<u>1,076,224</u>	—	<u>1,076,224</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	503,903	450,415	<u>121,904</u>	<u>1,076,224</u>	—	<u>1,076,224</u>
セグメント利益又は 損失(△)	19,017	△10,486	30,070	38,601	△100,186	△61,585

【訂正後】

(単位：千円)

	ビジネスアライアンス事業	コンセプトマーケティング ショップ事業	環境関連事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	503,903	450,415	<u>40,989</u>	<u>995,308</u>	—	<u>995,308</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	503,903	450,415	<u>40,989</u>	<u>995,308</u>	—	<u>995,308</u>
セグメント利益又は 損失(△)	19,017	△10,486	30,070	38,601	△100,186	△61,585

3. 今後の対応について

本件会計処理の訂正に伴い、平成27年8月期第3四半期四半期報告書についても、訂正報告書を提出する予定としておりますが、本日現在、会計監査人による四半期レビュー作業が完了しておりません。従いまして、平成27年8月期第3四半期四半期報告書の訂正につきましては、会計監査人からレビュー報告書を受領次第速やかに訂正報告書を提出し、ご報告申し上げる予定であります。

以上